



津波で浸食された水田(上)。水田に堆積した塩分を含む汚泥(右)。(仙台市若林区)



東日本大震災による津波で甚大な被害を受けた沿岸部の農業は、果たして復興したのだろうか？

国・県は大型法人農業による復興を進めてきた。また、集団移転地区では、民間事業者に開発をゆだね、観光農園や入浴施設を含む大型複合施設の計画が進んでいる。

震災後11年を過ぎ、国からの補助事業が減少し、機械設備の償却が始まり、さらに米価の大幅な下落が加わり、被災地農業の将来が描けなくなっているのではないか。

このシンポジウムでは、農業の復興の現状と問題点を明らかにしたい。

シンポジウム

東日本大震災から11年、復興の現在地

被災地農業の現状と課題

日時 3月5日(土)
13:00~15:30

会場 「フォレスト仙台」
(2階・第10会議室)

■フォレスト仙台

■所在地 仙台市青葉区柏木1-2-45
TEL: (022)271-9340

■交通 地下鉄北四番丁駅下車、北2出口より徒歩約7分
JR仙台駅よりタクシー約10分



- ◎会場参加の方は、マスクの着用をお願いします。
- ◎コロナの蔓延等の事情により、中止する場合があります。

シンポジウムの内容

- ◎問題提起・コーディネーター
冬木勝仁氏(東北大学教授)
- ◎パネラーからの発言
 - ①(農)せんだいあらはま代表・松木長男氏
 - ②(株)ぱるファーム大曲社長・小岩敏幸氏
 - ③みやぎ生協産直推進室本部・横山明夫氏
- ◎参加者も一緒に討論
- ◎コーディネーターのまとめ

参加登録のお願い

シンポジウムは、会場参加(定員30名)とリモート(ZOOMで100名)の併用で行います。
リモートでの参加を希望される方は、2月28日までに下記のメールアドレスに「参加者名」と「メールアドレス」をご登録ください。招待状を送ります。
また会場参加の方も、メールまたはFaxでご氏名、参加人数をご連絡ください。

Mail: miyagi.kenmincenter@gmail.com
Fax: 022-399-6925

東日本大震災復旧・復興みやぎ県民センター
仙台市青葉区大町2丁目5-10 御譜代町ビル305号
Tel: 022-399-6907 Fax: 022-399-6925